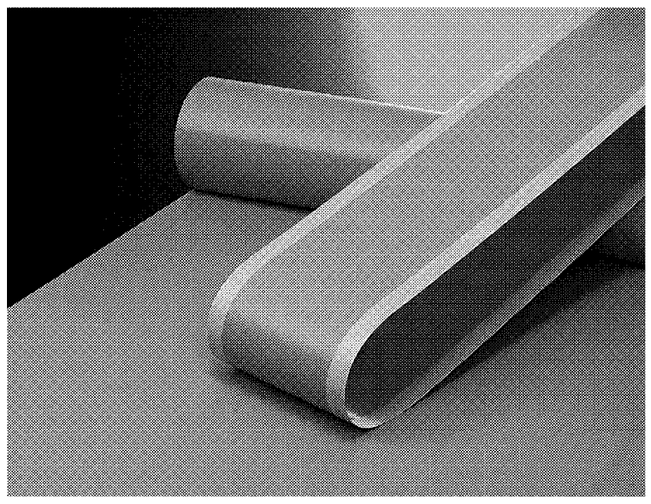
オータックス株式会社　本社 〒223-8558 横浜市港北区新羽町1215番地
TEL.045-543-5621(代)　FAX.045-542-3503
ホームページ　http://www.otax.co.jp　e-mail:sales@otax.co.jp

新製品

耐浸透性・耐久離型性能向上

ホンダフロー® LLファブリック
ホンダフロー® LLベルト



特　徴

- 動物性・植物性油の浸透防止性能に優れている
- 当社従来品に比べ、耐久離型性能が大幅に向上
- 耐熱性は当社従来品性能を保持
  HGSシリーズ：260℃　HASシリーズ：230℃
- 食品衛生法規格基準（昭和34年厚生省告示第370号）に適合

用途例

ハンバーグ製造ラインなどの油脂が多く付着する食品製造工程や、溶融樹脂などに対する離型性能の長寿命化を必要とする環境に適しています。

詳しくは下記にお問い合わせください。

本多産業株式会社

本　　社　〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町3814　TEL.045-869-1133　FAX.045-869-1184
大阪営業所　〒577-0807 東大阪市菱屋西4-6-6　TEL.06-6729-2757　FAX.06-6729-2834
九州営業所　〒859-1113 長崎県雲仙市吾妻町布江名677　TEL.0957-38-3520　FAX.0957-38-3522
長崎工場　〒859-1113 長崎県雲仙市吾妻町布江名677　TEL.0957-38-3520　FAX.0957-38-3522

http：//www.hondafloh.co.jp

神奈川県は今、産業構造の転換期を迎えつつある。これまで県内産業を牽引してきた自動車産業がセントラル自動車の県外移転などでかつての勢いにかげりが見える。このため県が力を入れるのが中堅・中小企業やベンチャー企業の支援だ。また「インベスト神奈川」を始めとした施策により、企業誘致も積極的に進められている。県は助成金など多様な支援メニューを用意、新しい産業集積、経済活性化を目指す。

神奈川産業振興センター

中小企業のアジア進出を支援

タイで開かれた「サブコンタイランド2011」に出展

神奈川産業振興センター（KIP）は公益法人改革に伴い、6月1日に「公益」財団法人神奈川産業振興センターとなった。公益財団法人として県内の中小企業に信頼される産業振興拠点を目指し、これまで以上に中小企業のニーズを踏まえた支援事業を展開していく。

KIPは2011年度の事業計画の重点テーマに「公益財団法人化に伴う事業基盤の整備」とともに、「中小企業の海外展開支援体制の充実・強化」を打ち出した。国内経済の収縮や不透明感、円高などから、アジアを中心に海外に進出する中小企業が増えている。企業がKIPの窓口に海外進出について相談した件数は10年度で148件。ここ数年、150件前後の相談を受けていることからも、海外進出への関心の高さがうかがえる。

このような現状から、KIPは4月から中国・大連の神奈川経済貿易事務所に2年ぶりに日本人職員1人を常駐させた。過去2年間、大連事務所はサテライトオフィスとして位置づけられ、職員は現地採用の中国人1人のみだったことから、日本人職員の常駐は中国進出を考える県内企業にとって心強い存在となる。

中国のほかにもタイ、ベトナム、インドなどアジア各国で海外展開を支援する。タイでは10年から部品・加工業者専門国際展示会「サブコンタイランド」に出展している。ベトナムには10年11月に視察団を派遣し、横浜インドセンターと日本貿易振興機構（JETRO）横浜と連携して、製造業を中心とする視察団を派遣。南部のチェンナイ、プネを巡った。「参加者のインドへの興味、関心の高さを肌で感じることができた」と担当者は話す。視察が好評だったことから、11年11月末には2回目となるインドへの視察団を派遣する予定だ。今回は、事前にインドを知ってもらうためのセミナーを複数回開催することにした。8月からの開催を目指し、これから参加者を募る。

ただ、KIPは企業の海外進出を促進しているわけではない。生き残りを図る目的で事業の海外展開を検討している企業に、正しい情報を提供することを第一に活動をしている。海外進出は失敗してしまうと大きな損失を被ることも少なくない。担当者は「事業展開の一つの選択肢として海外進出を考えている企業は、何でも気軽に相談してほしい」と話す。

横浜企業経営支援財団

研究開発 ワンストップサービス

1月に開催した入居者交流会には近隣のインキュベーション施設から約70人が集まり意見交換した

横浜企業経営支援財団（IDEC）が管理運営するインキュベーション施設には「横浜市産学共同研究センター（JRC）」「横浜新技術創造館リーディングベンチャープラザ（LVP）」「横浜金沢ハイテクセンター・テクノコア（金沢テクノコア）」の三つがある。鶴見末広センター（横浜市鶴見区）はこのうちJRCとLVPの二つを擁する。施設は高速道路に近く、羽田空港まで自動車で20分程度という利便性に恵まれている。また理化学研究所などが近くに立地しており技術連携をする上での地の利があり、入居率は9割を超える。

両施設は、実験用の配管・給排水を完備、遺伝子組み換えや創薬研究をするための施設基準もクリアしており、研究施設として大きな魅力を持つ。最近はバイオよりも環境や素材、液晶などの研究が増えてきているという。

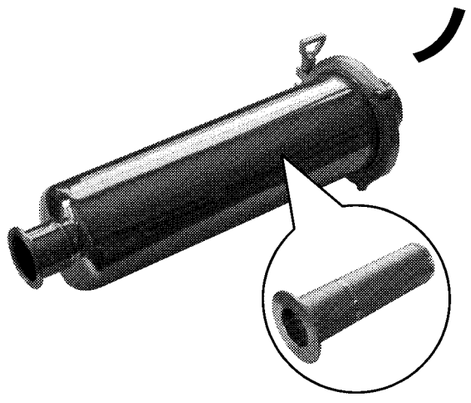
入居企業への支援体制も充実している。インキュベーション・マネージャーが個別に企業を回って要望を直接聞き、IDECや市による支援メニューから適したものを紹介、申請書の書き方までアドバイスする。また、装置開発など他企業の協力が必要となった時はIDECのネットワークなどを活用し、マッチングも手がける。年に2回開かれる入居企業交流会もマッチングの機会として機能しているという。両施設の入居企業だけでなく、金沢テクノコアや横浜バイオ産業センターからも積極的な参加があり、互いを認識し、刺激する場となっている。

そうした中、いくつかの成果が出始めている。機能性リポソームなどで創薬技術を保有するメビオファーム（東京都港区）が7月中に上場予定。川崎市に本社を置く慶応義塾大学発ベンチャーのシムドライブは電気自動車（EV）の組み立てをLVPで行っているという。電子機器の回路実装基板の小型化などを得意とするマイクロモジュールテクノロジーも受注を伸ばしている。エイコーエコスパは工場で排出される廃油を浄化する廃油再生燃料化装置を開発、販売を始めた。アポロジャパンは二次元コード読み取り機を開発、教材やセキュリティーの分野で伸びているという。

これらの企業活動を支えているのがIDECが提供するワンストップサービス。最近では中小企業診断士などの専門家を常駐させるなど、窓口相談対応を拡張した。また省エネ対策セミナー開催など、刻々と変化する情勢にも柔軟に対応する。

中堅・中小・ベンチャー企業支援　8

ノッチワイヤーフィルター
サニタリータイプ



破れない！逆洗できる！
信頼できるフィルターエレメントです

食品・清涼飲料・化粧品・薬品等の沪過に最適。

ISO9001　ISO14001　DNV REGISTERED FIRM　本社・工場

各種精密沪過機器・浄油装置設計製造
神奈川機器工業株式会社
取締役社長　卜部　礼二郎
〒235-0021　横浜市磯子区岡村8丁目19番1号
電話 045-761-0351(代表)　045-753-3800(営業)
E-MAIL:sales@kanagawa-kiki.co.jp
URL:http://www.kanagawa-kiki.co.jp

新規創業・新分野進出を応援します
～KIPインキュベートのご案内～

KIPでは、新規創業や新分野進出に挑戦している方々を応援するために、事業化のステージに応じた“3タイプ”のスペースを用意し、インキュベーションマネージャーが徹底的に支援しています。お気軽にご相談ください。

事業化直後、事業確立・拡大期の方々のために
インキュベートルーム
¥58,040～¥94,780/月
パーティションで区切った個室タイプ

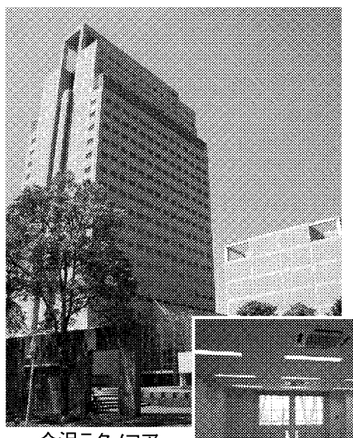
ビジネスプラン確立期、創業・事業化直前の方々のために
シェアードオフィス
¥20,000/月
16.9m²の部屋を4人でシェア

事業可能性・事業手法検討段階の方々のために
ドリカムスペース
無　料
事務机・打合せテーブルを共有

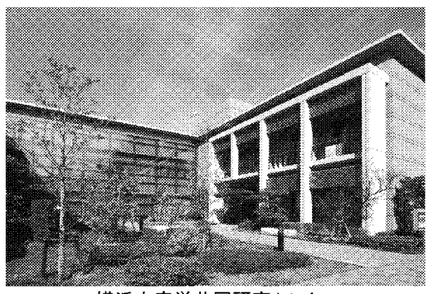
公益財団法人
神奈川産業振興センター
〈お問い合わせ〉
〒231-0015　横浜市中区尾上町5－80
事業化支援課　TEL:045-633-5203
URL:http://www.kipc.or.jp/content/view/120/55/

研究開発型・技術開発型企業を支援するインキュベート施設

25m²から450m²までの実験室、研究室、試作開発工場、オフィスなどを完備。


金沢テクノコア
横浜市金沢区福浦

横浜新技術創造館(リーディングベンチャープラザ)
(LVP)
横浜市鶴見区末広町


横浜市産学共同研究センター
(JRC)
横浜市鶴見区小野町

IDEC YOKOHAMA
財団法人 横浜企業経営支援財団
(横浜市中小企業支援センター)
http://www.idec.or.jp/
JRC・LVP　TEL:045-508-7450
金沢テクノコア　TEL:045-788-9570

低コスト・短納期で高品質の金型を
正負のパルス波を応用した最先端のプラズマ窒化で実現

BPN

ステンレス系金型の対摩耗・耐食向上
マスキングは、形状、大きさ、絞、鏡面、
その他の諸状況に完全対応

- アンモニアレス低温で環境、公害、CO_2低減に対応
- 各種金型材料（非鉄を除く）の耐摩耗、耐食大幅向上
- 処理温度400°Cは、他法にない製品の実温で管理
- 変形なし、変寸極々僅少、超精密金型の精度を維持
- 超鏡面にも対応可　■ 光沢面の色調は変化なし
- φ1000×H1800　4基8ステージ単重3000kg処理可

www.fujikoshi-yakin.co.jp/

営業種目／真空熱処理、BPN（プラズマ窒化）、BPN／OX（窒化+酸化）、VNiT（ガス軟窒化）、SNiT（浸硫窒化）、PVD、DLCコーティング

ISO9001・2000
不二越冶金工業株式会社
〒211-0021 神奈川県川崎市中原区木月住吉町24番5号
TEL.(044)411-3188(代)　FAX.(044)422-4732